

# 第1章 中間評価にあたって

## 1 計画策定の趣旨

平成12年度より展開されてきた国民健康づくり運動「健康日本21」では、壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸、生活の質の向上を目的として、健康を増進し発症を予防する「一次予防」を重視した取組を推進してきました。

今回、平成25年度から令和4年度までの「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動（健康日本21（第二次））」（以下「国民運動」という。）では、21世紀の日本を『急速な人口の高齢化や生活習慣の変化により、疾病構造が変化し、疾病全体に占めるがん、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加し、これらの生活習慣病に係る医療費の国民医療費に占める割合が約3割となる中で、高齢化の進展によりますます病気や介護の負担は上昇し、これまでのような高い経済成長が望めないとするならば、疾病による負担が極めて大きな社会になる』と捉え、引き続き、生活習慣病の一次予防に重点を置くとともに、合併症の発症や症状進展などの重症化予防を重視した取組を推進するために、下記の5つの「基本的な方向」が示されました。

- (1) 健康寿命の延伸と健康格差の縮小
- (2) 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底（非感染性疾患の予防）
- (3) 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上
- (4) 健康を支え、守るための社会環境の整備
- (5) 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、喫煙、飲酒及び歯・口腔の健康に関する生活習慣病及び社会環境の改善

また、これらの基本的な方向を達成するため、53項目について、現状の数値とおおむね10年後の目標値を掲げ、目標の達成に向けた取り組みが強化されるよう、その結果を大臣告示として示すことになりました。

芦別市では、平成27年度に芦別市の特徴、市民の健康状態をもとに、健康課題を明らかにした上で、生活習慣病予防に視点をおいた、「第2次健康プラン芦別」を策定し、推進してきました。

この計画は、平成27年度から令和4年度までの8年間を計画期間とし、5年を目途に中間評価を行うとしていることから、令和元年度に中間評価を行いました。

## 基本的な方向の概略

### (1) 健康寿命の延伸と健康格差の縮小

健康寿命：健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

健康格差：地域や社会経済状況の違いによる集団における健康状態の差

### (2) 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底（NCDの予防）

がん、循環器疾患、糖尿病及びCOPD（慢性閉塞性肺疾患）に対処するため、合併症の発症や症状の進展などの重症化の予防に重点を置いた対策を推進。

国際的にも、これからの疾病は重要なNCDとして対策が講じられている。

### (3) 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

壮年期から高齢期まで、全てのライフステージにおいて、心身機能の維持及び向上に取り組む。

### (4) 健康を支え、守るための社会環境の整備

個人の健康は、家庭、学校、地域、職場等の社会環境の影響を受けることから、国民が主体的に行うことができる健康増進の取組を総合的に支援していく環境の整備。

### (5) 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、喫煙、飲酒及び歯・口腔の健康に関する生活習慣病及び社会環境の改善

対象ごとの特性やニーズ、健康課題等の十分な把握を行う。

## NCD（Non-Communicable Disease）について

心血管疾患、がん、慢性呼吸器疾患及び糖尿病を中心とする非感染性疾患（NCD）は、人と健康と発展に対する主な脅威となっている。

これらの疾患は、共通する危険因子（主として喫煙、不健康な食事、運動不足、過度の飲酒）を取り除くことで予防できる。

この健康問題に対処しない限り、これらの疾患による死亡と負荷は増大し続けるであろうと予測し、世界保健機構（WHO）では、「非感染性疾患への予防と管理に関するグローバル戦略」を策定するほか、国連におけるハイレベル会合でNCDが取り上げられる等、世界的にNCDの予防と管理を行う政策の重要性が認識されている。

今後、WHOにおいて、NCDの予防のための世界的な目標を設定し、世界全体でNCD予防の達成を図っていくこととされている。

## 2 計画の位置づけ

本計画は、「芦別市第5次総合計画（平成22年度～令和元年度）」を上位計画とし、市民の健康の増進を図るための基本的事項を示し、推進に必要な方策を明らかにするものです。

この計画の推進にあたり、保健事業の効率的な実施を図るため、医療保険者として策定する高齢者の医療の確保に関する法律に規定する「芦別市国民健康保険特定健康診査等実施計画」と一体的に策定し、医療保険者として実施する保健事業と事業実施者として行う健康増進事業との連携を図ります。

同時に、目標項目に関連する法律及び各種計画との十分な整合性を図るものとします。

（表1）

表1 関連する法律及び各種計画

法律	北海道の計画	芦別市の計画
国民健康保険法		第1期データヘルス計画
高齢者の医療の確保に関する法律	北海道医療費適正化計画	第3期芦別市国民健康保険特定健康診査等実施計画
次世代育成対策推進法	北の大地☆子ども未来づくり北海道計画	芦別市次世代育成支援行動後期計画
食育基本法	北海道食育推進計画	第3次芦別市食育推進計画
がん対策基本法	北海道がん対策推進計画	（第2次健康プラン芦別）
歯科口腔保健の推進に関する法律	北海道歯科保健医療推進計画	（第2次健康プラン芦別）
介護保険法	北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画	第7期芦別市高齢者保健福祉計画・芦別市介護保険事業計画
自殺対策基本法		（第2次健康プラン芦別）

## 3 計画の期間の変更

計画の期間は、当初、平成27年度から令和4年度までの8年間としていたが、関連する計画である芦別市国民健康保険第1期データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画期間が平成30年度から令和5年度までの6年間となったことから、整合性を図るため、本計画も目標年次を令和5年度とし、計画期間を令和5年度までとします。

## 4 計画の対象

本計画は、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じた健康増進の取り組みを推進するため、全市民を対象とします。